

授業科目名	美容文化論	科目コード	1501012		
開講クラス	美容昼間課程専門科	コース		学 年	1, 2年
担当教員	川端夏代・山内亜希子				
	実務経験教員 (<input checked="" type="radio"/> ・ 無) 実務経験内容 池田優理子 美容師 平成 21 年 5 月 美容師免許取得 平成 29 年 6 月 美容文化論教員資格取得 川端夏代 美容師 平成 12 年 1 月 美容師免許取得 平成 16 年 9 月 美容文化論教員資格取得				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	66時間	
	必須・選択・選択必須		単位数	2単位	
使用テキスト1	書名	美容文化論			
	著者				
	出版社	社団法人 日本理美容教育センター			
使用テキスト2	書名	美容技術理論2			
	著者	社団法人 日本理美容教育センター			
	出版社				
参考図書	美容雑誌 (ヴォーグ、ギャップ)				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標> 美容の歴史的意味を理解し現代社会(サロン)での役割の洞察の助けになるよう悟性、感性を向上させる</p>					
<p><授業の概要・授業方針> ファッション(髪型・服装・化粧)の歴史は人間の創造力や技術力の広がりを示すカタログであり、アイデアの宝庫であるので講義だけではなく美容雑誌、DVD鑑賞、パワーポイントを利用し視覚的に見せ、視野を広げることを目指す</p>					
<p><成績基準・評価基準> 年2回の定期テストの80点以上を『優』, 70点以上を『良』, 60点以上を『可』とし、それ以下の学生には追試試験を行う。</p>					
<p><使用問題集・注意事項> 自作の演習プリントや、まとめプリント、テスト対策プリントを随時配布している。また、国家試験直前には、出題部分を分野ごとにポイントのまとめと演習プリントを配布し、国家試験対策を行う</p>					

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

- ・美容実習・美容技術理論2

授業科目名		美容文化論
回	授 業 内 容	備 考
1、2	ファッション文化史・西洋編 古代エジプト・古代ローマ・古代ゲルマン	PP
3、4	中世ヨーロッパ	PP
5、6	近世Ⅰ（16世紀）	PP
7、8	近世Ⅰ（16世紀）	PP
9、10	近世Ⅱ（17世紀）	PP
11、12	近世Ⅲ（18世紀）	PP
13、14	近代Ⅰ（18世紀～19世紀初め）	PP
15、16	近代Ⅱ（19世紀）	PP
17、18	現代Ⅰ（1910～1920年代）	PP
19、20	現代Ⅱ（1930年代）	PP
21、22	現代Ⅲ（1940～1950年代）	PP
23、24	現代Ⅳ（1960年代）	PP
25、26	現代Ⅴ（1970年代）	PP
27、28	現代Ⅵ（1980年代）	PP
29、30	現代Ⅶ（1990年代～2010年）	PP
31	期末試験	
32	期末試験 復習	
33、34	ファッション文化史・日本編 縄文・弥生・古墳時代	PP
35、36	古代（飛鳥・奈良・平安時代）	PP
37、38	中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）	PP
39、40	近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）	PP
41～43	近世Ⅱ（江戸時代）	PP
44、45	近代（明治・大正・昭和20年まで）	PP
46、47	現代Ⅰ（1945年代～1950年代）	PP
48、49	現代Ⅱ（1960年代～1970年代）	PP
50、51	現代Ⅲ（1980年代～1990年代）	PP

(学) 宮崎総合学院 宮崎サザンビューティ専門学校
授業シラバス

52、53	現代Ⅳ（2000年代以降）	PP
54	期末試験	
55	期末テスト 復習	
56	理容業・美容業の発生	PP
57	江戸時代の理容業・美容業	PP
58	近代の理容業・美容業	PP
59	現代の理容業・美容業	PP
60	和装の礼装	PP
61	洋装の礼装	PP
62、63	総合学習 DVD 鑑賞	
64、65	総合学習 DVD 鑑賞	
66	全章 復習	